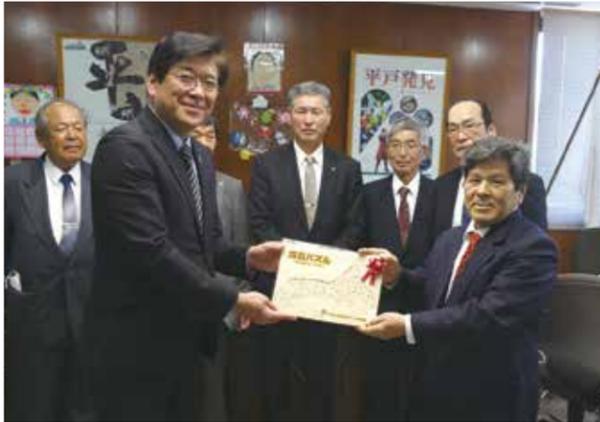


2/16 Hirado City Photo News
度島の地名をパズルに



平戸市役所市長室において、NPO法人度島地区まちづくり運営協議会が制作した度島パズルが寄贈されました。

パズルは、同協議会が度島の地名を身近に感じてもらうと75冊を制作。市役所に5冊寄贈されたほか、度島小中学校に30冊、平戸図書館に10冊、残りは度島大学などで脳トレに活用されます。

同協議会の堺理事長は、「子どもたちをはじめ、島民の皆さんに楽しみながら地名を覚えてほしい」と話しました。

2/15 Hirado City Photo News
1年間の活動の成果を報告



平戸市役所市長室において、地域おこし協力隊の活動報告会が行われました。

報告したのは、生月町で和牛ヘルパーとしての業務に従事している前田隊員、春日町の集落拠点施設「かたりな」などで世界遺産関連の業務を担当する田中隊員、ふるさと納税の商品開発や情報発信などの業務を担当する石坂隊員の3人。

これまでの取り組みの成果や苦労したこと、今後の展望などを黒田市長、町田副市長に報告し、意見交換しました。

2/7 Hirado City Photo News
燃え上がる炎が春の訪れを告げる「川内峠野焼き」



川内峠で春の風物詩である野焼きが行われ、約30ヘクタールの草原を炎が覆いました。野焼きは、防火と草原の保全を目的として毎年1回行われています。

当日は、消防職員や消防団、地元住民ら約150人が参加。午前9時ごろから、川内峠の南側から区画ごとにガスバーナーで火入れしました。放たれた火はすぐに燃え広がり、パチパチと音をたてながら草原の枯れ草などを焼き尽くしました。野焼きの後は、わらびなどの山菜が芽吹きます。



2/7 Hirado City Photo News
公民館活動をとらえて未来へつなぐ地域の文化



田平町民センターにおいて、令和2年度第15回平戸市公民館大会が開催されました。この大会は、人々の暮らしをつなぐ公民館をまちづくりの中核ととらえ、より良い公民館活動の充実を目的として毎年開かれています。

大会では、これまで公民館活動や生涯学習などに多大な貢献をされた11人・2団体の功績を讃え、表彰が行われました。また、田平地区における公民館活動や田平まちづくり協議会と公民館との連携について事例発表が行われました。

2/8 Hirado City Photo News
さらなる平戸の魅力発信のため



未来創造館において、農事組合法人ひらど新鮮市場の平戸産品を活用したレストラン事業計画が、農林水産省所管の総合化事業計画に1月29日付で認定されたことに伴い、認定証授与式が行われました。

九州農政局長崎県拠点の白井支局長から認定証が授与された後、今後の取り組みについて意見交換しました。白井支局長は「平戸市は、海の幸・山の幸が揃った魅力的な場所。今回の認定を機に、平戸市の魅力をさらに伝えられるよう頑張ってください」と話しました。

1/25 Hirado City Photo News
万が一の火災から文化財を守る



1月26日の「第67回文化財防火デー」に合わせ、市内の文化財や史跡13カ所で、訓練が実施されました。文化財防火デーは、昭和24年の法隆寺金堂での火災を教訓に制定され、全国で文化財防火運動が行われています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で消火器を用いた少人数での初期消火訓練や防火設備の点検、コンセントなど発火の恐れがある場所や火災の際の避難経路を再確認し、万が一の火災への意識を新たにしました。